北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	国際経営論II	科目コード	1207	単位数	3
担当者名	菊地　均	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	D.E	実務経験	無
ナンバリング	FOr506	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

国境を越える経営、あるいは国境をまたぐ経営が国際経営である。本講義では国際経営に関する主要なテーマをできるだけ多面的に取り上げるため、日本企業だけでなく欧米企業、アジア企業の動きなども紹介し、AI（人工知能）時代におけるグローバルな活動を担いうる人材養成をねらいとしている。

到達目標

国際経営の対象・歴史・理論、および国際経営環境との関連で重要になる主要課題など、国際経営および日本企業の海外経営に関する基本知識を身につけ、問題の把握力・的確な分析力を養うことを目標にしている。講義の中では国際経営に関するケーススタディを学びながら、その上で経営環境とイノベーションについての高度な専門的知識を修得できるようになる。

授業内容

1週目 国際経営の世界
2週目 多国籍企業の歴史
3週目 国際経営の制度と環境
4週目 国際経営の理論
5週目 国際マーケティング
6週目 海外生産とイノベーション
7週目 多国籍企業とグローバリゼーション
8週目 国際研究開発とイノベーション
9週目 AI時代の人的資源管理
10週目 国際財務管理 + レポート提出
11週目 国際経営組織
12週目 国際戦略提携
13週目 異文化経営
14週目 非製造業の国際経営 + 期末テスト
15週目 GAFA+Mとデジタル資本主義
16週目 ポストコロナの世界と日本的経営。やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講講義を行う。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

国際経営論IIはIを基礎として、その上で講義を進めるので、国際経営論Iに対する理解力のある程度の水準が要求される。予習は事前に配布する講義資料を読み、自分の考えをまとめ、問題があれば、具体的にまとめて質問用紙にて提出してもかまわない。復習は講義での内容を体系的に整理し、小論文にまとめ、次回の授業に備える。なお、週6時間の予習・復習を行い、学期末には自己評価をしてもらう。毎週、自己点検シートを配付するので、必ず記入すること。

成績評価の方法・基準

成績は期末試験40%、レポート30%、授業への参加意欲30%などで総合評価する。

履修上の留意点

履修に際しての注意事項等の詳細は、1回目の講義の際に告知するので、受講を希望する場合は必ず出席すること。期末試験の講評については、15週目の講義の中で行う。なお、遅刻は原則認めないが、やむを得ない理由により遅刻する際は必ず連絡を入れてもらいたい。また、出席は3分の1以上が望ましいが、病気その他やむを得ない事情がある場合は関係書類と欠席届を提出すること。

課題に対するフィードバックの方法

受講前に読むべきテキストや画像をLMSにアップロードするので、ダウンロードして読み込み、不明な点があればLMSで質問してもらいたい。
提出された試験やレポートについては、コメントをつけてLMSで返却すると同時に、全体の講評は次回の講義の中で行う。

テキスト

特にない。ただし、必要に応じて資料を配布する。

参考書

吉原英樹、白木三秀ほか編『ケースに学ぶ国際経営』（有斐閣）3080円
菊地　均『シュンペーターの資本主義論』（日本経済評論社）6050円

更新日付

2026/03/03 08:06